



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

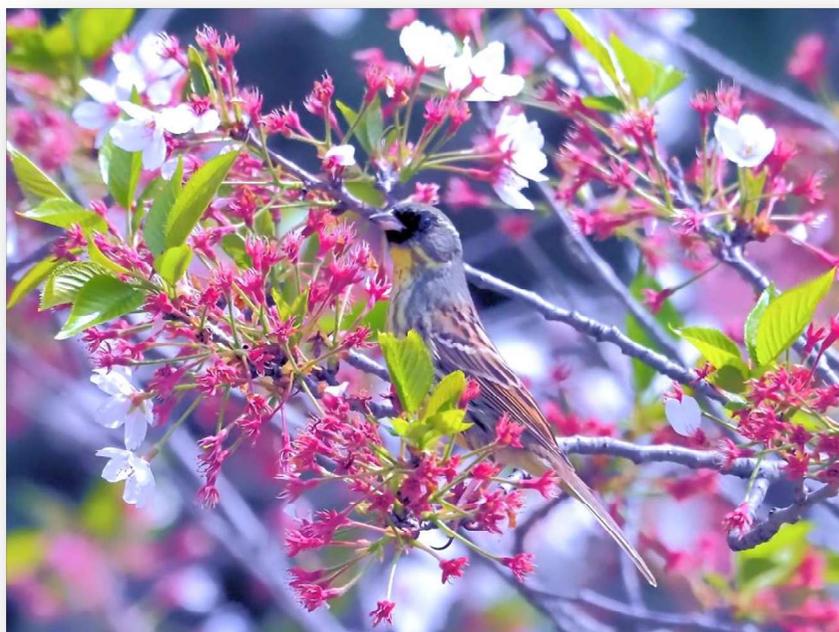
# しらこぼと

## 2021.4

No.445

日本野鳥の会 埼玉

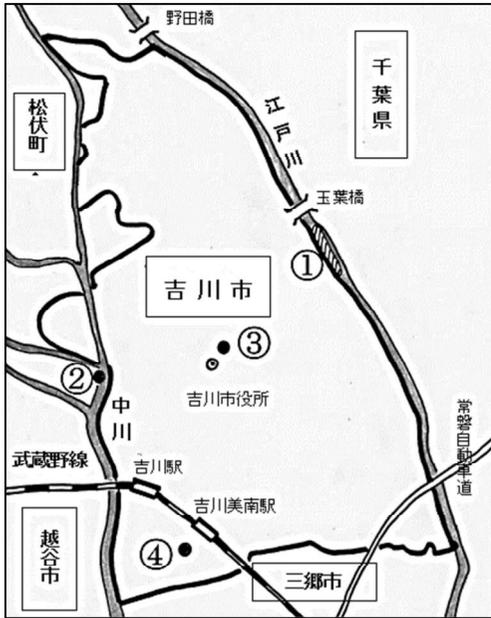
S H I R A K O B A T O



# 吉川市の探鳥地をご紹介します

石川 光夫 (吉川市)

こんにちは。埼玉県東部に位置する吉川市は、東に江戸川、西に中川に挟まれ、水と緑が豊かな平坦な地域です。私はそこに住み、植物、魚類、昆虫、野鳥、ほ乳類など、いろいろな生き物を観察してきました。今回は、野鳥を中心に吉川市での私の主なフィールドを紹介します。



## ●江戸川河川敷 (地図 ①)

ここは今、2021年3月31日まで、玉葉橋より下流の右岸約1kmにわたって、洪水を防ぐため河川整備の工事中です。

それまでは冬季を中心に、土手の上からミサゴ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオタカ、ノスリなどの猛禽類を中心に楽しんでいまし

た。過去には、フクロウ、コミミズク、トラフズクが現れたこともありました。

この工事で、河畔林は全て消えました。そこに住んでいたキツネ、タヌキ、イタチ、アライグマ、ハクビシン、カヤネズミ、ハタネズミ、ヘビたち、昆虫たちが心配です。

工事の完成予想図では、深淺差をつけた大きなワンドができるそうです。完成後は、いろいろな生き物たちの復活を確認していきたいと思います。

## ●中川右岸のサギのコロニー (地図 ②)

サギのコロニーは越谷市側の右岸にありますが、観察は吉川市側の左岸の県道67号線沿いからになります(写真下)。しかし、駐車スペースはなく、観察スペースもごく限られており、交通量は多く充分に注意が必要です。

このコロニーでは、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギ、ゴイサギの6種類が繁殖しています。本会の探鳥会が毎年7月、8月に予定されています。

私は以前、コロニーの対岸にあった旧吉川市庁舎の屋上から、特別の許可を得てサギ全体の数を数えたことがあります。2015年には1200羽ほどでした。毎年1000羽前後です。



●吉川調整池ウエットランド (地図③)



ここは新しい市庁舎の近くにあります。今、調整池に堆積した土砂の除去作業が3月26日まで行われています。

この池はアカメヤナギで埋め尽くされています。木道や観察デッキ(ハイド)が設置されています。上の写真は、その観察デッキからの景観です。

ここでカワセミも繁殖しています。以前、吉川市の自然観察会をお手伝いした際、カワセミの親子が池に飛びこむ姿を参加した皆さんと観察することができました。楽しい思い出です。

●美南中央公園の調整池(地図④)

今、吉川市で最も暑いフィールドがここです。この調整池(写真下)は、美南中央公園の西側に位置しています。武蔵野線吉川美南駅から歩いて15分かかりません。

昨年は、年間を通してヒクイナのつがいを観察することができました。また、タシギ、タゲリ、ベニマシコも楽しむことができました。その他の野鳥の様子は、右の表をご覧ください。

私は、この池を通じて、近くの小学校で環境教育に協力しています。それは、未来に対して責任があると思っているからです。



確認できた野鳥たち(2020年1月~2021年1月)					
No.	種名	春	夏	秋	冬
		3~5月	6~8月	9~11月	12~2月
1	キジ	○	○	○	○
2	ヒドリガモ			○	○
3	マガモ			○	○
4	カルガモ	○	○	○	○
5	ハシビロガモ			○	○
6	オナガガモ			○	○
7	コガモ	○		○	○
8	ホシハジロ			○	○
9	キンクロハジロ				○
10	ミコアイサ			○	○
11	カイツブリ	○		○	○
12	キジバト	○	○	○	○
13	カワウ	○	○	○	○
14	ヨシゴイ		○		
15	ゴイサギ	○	○	○	○
16	アオサギ	○	○	○	○
17	ダイサギ	○	○	○	○
18	チュウサギ		○		
19	コサギ	○	○	○	○
20	クイナ	○	○	○	○
21	ヒクイナ	○	○	○	○
22	バン	○	○	○	○
23	オオバン			○	○
24	タゲリ				○
25	コチドリ	○	○		
26	タシギ	○		○	○
27	イソシギ			○	○
28	コアジサシ	○	○		
29	ミサゴ			○	
30	トビ	○		○	○
31	オオタカ	○		○	○
32	カワセミ	○	○	○	○
33	チョウゲンボウ			○	○
34	モズ	○		○	○
35	オナガ	○			○
36	ハシボソガラス	○	○	○	○
37	ハシブトガラス	○	○	○	○
38	シジュウカラ	○	○	○	○
39	ツバメ	○	○		
40	ヒヨドリ	○	○	○	○
41	メジロ	○		○	○
42	オオヨシキリ	○	○		
43	ムクドリ	○	○	○	○
44	ツグミ	○		○	○
45	ジョウビタキ	○		○	○
46	イソヒヨドリ			○	○
47	スズメ	○	○	○	○
48	ハクセキレイ	○	○	○	○
49	タヒバリ				○
50	カワヒゲ	○		○	○
51	ベニマシコ				○
52	ホオジロ	○		○	○
53	カンラダカ	○		○	○
54	アオジ	○		○	○
55	オオジュリン			○	○

(写真と地図：編集部)

## 野鳥記録委員会の野鳥情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

### ●キガシラセキレイ

英名 Citrine Wagtail

学名 *Motacilla citreola*

分類 スズメ目セキレイ科セキレイ属



本誌 2021 年 2 月第 443 号に掲載された、鈴木 功会員の「越谷レイクタウンの昔と今」によると、2007 年にキガシラセキレイが観察・撮影（上掲写真）されたとありました。

当委員会では上掲写真の鳥をキガシラセキレイと認め、県内 2 例目の観察記録として発表します。

県内におけるキガシラセキレイの初記録は、1987 年 4 月の、当時の浦和市での記録（本誌 1987 年 9 月第 40 号参照）です。

以下、鈴木さんによる 2007～08 年のキガシラセキレイ越冬観察記録のあらましです。

- ・初認：2007 年 12 月 2 日
- ・終認：2008 年 3 月 16 日
- ・場所：越谷市大成町（当時）の大相模調節池。造成中の北池水門付近。
- ・観察所見：第 1 回冬羽の個体 1 羽。ハクセキレイと一緒にいたこともあったが、基本的には単独行動だった。初認から終認までの間、羽色の変化はあまりなかった。

今回、本県 2 例目となるキガシラセキレイの記録が鈴木さんの資料から確認されました。同様に皆様のお手元にある資料の中にも貴重な記録があるかもしれません。お手元にある資料の中に貴重な記録がありましたら、当委員会までお寄せください。

## 発行予定日やお願い

編集部

### ●『野鳥』誌&『しらこぼと』が、同封送付される会員の皆様へ

『野鳥』誌を発行する公益財団法人日本野鳥の会（以下「本部」）より、以下のように『野鳥』誌の隔月発行予定日の連絡がありました。

皆様方には、『野鳥』誌と『しらこぼと』が届くのはこの時期になります。

◇5・6月号（5月20日発行）

◇7・8月号（7月1日発行）

※発行日が通常より早まります。

◇9・10月号（9月17日発行）

◇11・12月号（11月19日発行）

◇2022年1・2月号（2022年1月20日発行）

◇2022年3・4月号（2022年3月18日発行）

### ●『しらこぼと』だけが、送付される会員の皆様へ

先述の『野鳥』誌の隔月発行予定日に準じて、当会事務局より発送します。

従来と同様、当会事務局より直接送付する分、『野鳥』誌&『しらこぼと』同封送付の会員の方々より若干早く届きます。

### ●いつでも写真や原稿をお待ちしています

記録を残すことは大切です。記録が無ければ存在していないと同義語です。

そして『しらこぼと』は国会図書館に納品されています。ここに納品されたものは永久保存されます。つまりは、『しらこぼと』に掲載された記録やあなたの名前が永久保存されるわけです。

後世の人が埼玉の野鳥を調べるときに、そのよりどころにもなると信じています。

投稿先は、『しらこぼと』末尾のページの最下段、編集部への原稿、編集部への野鳥情報または、HPの野鳥情報、会報用原稿のメールアドレスをご利用ください。もちろん、はがき、封書などでも大歓迎です。



## 野鳥情報

**天覧山～多峯主山** ◇10月24日、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ハクセキレイ、キジバト、ドバト、スズメ、モズ、シジュウカラ、コジュケイ、カケス、コゲラ、オナガ、エナガ、ガビチョウ、アカゲラ、ダイサギ、メジロ、シメ、ヒヨドリ48、ウグイス。ヤマガラの若鳥を見ることができた。天覧山からの分岐周辺でコガラ、クイタダキ、アオゲラの声を聞くことができた(村越百合子)。

**草加市柿木町 そうか公園** ◇10月25日、至近距離をジュウイチが飛んだ。10月27日、ノゴマ♀1(下写真)。池のそばにあるヨシ原で発見した。警戒心はとても強かった。11月14日、マヒワ♀1。11月15日、オカヨシガモ♂2♀1、キセキレイ1、セグロセキレイ2、ヒガラ1、マヒワ4、カケス3、ソウシチョウ10+。ソウシチョウは当地初記録。昨年はガビチョウも出て外来種の記録が増えている。11月21日、オカヨシガモ♂3♀1、キセキレイ1、セグロセキレイ2、カケス1(鈴木 功)。



**草加市柿木町 中川河川敷** ◇10月25日、オオタカ成鳥1、ノスリ2(鈴木 功)。

**蓮田市貝塚 山ノ神沼(54390521)** ◇10月25日、マガモ6、カルガモ39、コガモ6、カイツブリ4、ダイサギ1、モズ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ。11月6日、ヒドリガモ8、マ

ガモ31、カルガモ56、コガモ23、カイツブリ3、アオサギ1、ダイサギ1、コサギ1、オオバン6、カワセミ1、オナガ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ。12月4日、ヒドリガモ56、マガモ21、カルガモ54、コガモ29、カイツブリ4、コサギ1、オオバン6(嶋田富夫)。

**久喜市葛蒲町下栢間** ◇10月27日午後12時、ジョウビタキ♂1、今季初認。元荒川土手のガードレールにとまる。11月12日午前7時45分、ツグミ1、住宅と畑地の境の電線上にとまる。今季初認(小貫正徳)。

**鴻巣市大間一丁目** ◇10月28日、午前中からジョウビタキの声が聞こえる。午後2時40分、ようやく姿を確認。みだった。今季初認(榎本秀和)。

**さいたま市緑区上野田** ◇10月28日、アリスイとカケスの声。ホオジロが囀っていた(鈴木紀雄)。

**さいたま市岩槻区太田1丁目** ◇10月31日、アンテナにとまり、「ヒッヒッ」と鳴くジョウビタキ♀1、今期初認(鈴木紀雄)。

**蓮田市 西城沼公園周辺** ◇10月28日、ジョウビタキ♂が電線で「ヒッヒッヒッ」。今季ここでの初認(下写真)。エナガ、シジュウカラ、コゲラの混群がナンキンハゼと桜を行ったり来たり。11月6日、イチョウの木の天辺にシメがとまった。今季この辺りの初認。11月9日、残り少ない柿の実にムクドリ50±が群がっていた。11月14日、木守柿に群がるムクドリに混じり、ツグミが1羽。飛び立つときの声を久々に聞いた。今季この辺りの初認。11月18日、庭で落葉掻きをしていたら、ジョウビタキ♀が2m先の枝にとまり、尾を上下しながら、じっと見ていた(長嶋宏之)。



**さいたま市見沼区藤子** ◇10月28日、ハシボソガラス約30の群れ中にミヤマガラス4。10月29日、頭が白っぽく、虹彩が黄色のノスリ1。ここで越冬するか。ミヤマガラス約30の群れ。10月30日、前日と同一個体と思われるノスリがビニールハウスの屋根に。ハシボソガラス約15とともに採餌するミヤマガラス約55。11月2日、1m程の丈の草地で「チッ」の声。しばらく見ているとホオアカ2が出現。声の様子からもっといたかも。11月7日、電線にツグミ1、今期初認。ヨシ原でアオジ♀。11月16日、タシギ1飛ぶ。さらに水のある草地からタシギ1が飛び出し、モズが追い回す。アリスイの声。11月17日、樹上で鳴くジョウビタキ♂1。草地及び隣のヨシ原でホオアカ2+、カシラダカ（ホオアカに追われる）、オオジュリンなど。農道草地にミヤマガラス70の群れ。11月18日、水のある刈田にタマシギ♂1、草地にホオアカ2。11月19日、水のある刈田にタシギ10、タマシギ♂1、草地でコジュリン1。11月21日、水のある刈田にタシギ5、タマシギ♂2、ミヤマガラス50、中に混じっているハシボソガラスの1羽は風切羽の一部が白変（鈴木紀雄）。

**さいたま市の鴨川** ◇11月3日、藤橋上流の水路の縁でクイナ1が水浴び、羽繕い。その2mほど上の枝にカワセミ1。他にジョウビタキ、イソシギ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジ、メジロなど。12月7日、関沼近くの中州でイカルチドリ2。他にオカヨシガモのペア（♂は換羽中）、ハシビロガモ8、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、カワセミ、カイツブリなど。あちらこちらの藪でウグイス、アオジ、ホオジロが地鳴き。日が沈んで暗くなりかけた午後4時半過ぎ、小櫃（根切橋の上流）の急な流れをオオバン8の黒々とした一団が遡って行くのが見えた（大塚純子）。

**上尾市地頭方～平方領領家** ◇11月11日、スズメ、シジュウカラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、オナガ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、カワラヒワ、モズ、ムクドリ、ダ

イサギ、コサギ、アオサギ、キジ♀3、ガビチョウ、キジバト、コゲラ、カワセミ、コジュケイ、カケス、ホオジロ、ヒバリ、ウグイス、カルガモ、クイナ（声のみ）。クサシギ2、電柱にツグミ27、ジョウビタキ♂5♀3、今期初認。「キーキキキキキ」という声が聞こえてきたので、上空を見るとハシボソガラス16にオオタカ2が追走されていた（村越百合子）。

**鴻巣市大間一丁目** ◇11月12日午前8時ごろ、ツグミの「クイックイック」という声を2声聞く。今季初認。同18日、電線に止まっているツグミの姿をようやく確認する（榎本秀和）。

**さいたま市緑区南部領辻 トラスト1号地周辺** ◇11月15日、スズメ、メジロ、ヒヨドリ、モズ、ムクドリ、ジョウビタキ、シジュウカラ、シロハラ、アオサギ、ダイサギ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシボトガラス、ウグイス、ヤマガラ、ガビチョウ、カケス、エナガ、キジバト、ホオジロ、カルガモ、オシドリ♀1（村越百合子）。

**越谷市 越谷レイクタウン** ◇11月15日、カンムリカイツブリ2。11月21日、カンムリカイツブリ3、アカハラ4、ベニマシコ1（鈴木 功）。

**蓮田市黒浜** ◇11月15日、上沼周辺でノスリ1飛来。オオタカも飛んで行く。カワセミ、ツグミ。クイナの声。国立病院機構東埼玉病院敷地内でシメが「プチッ」と鳴いていた（鈴木紀雄）。

**さいたま市緑区上野田** ◇11月20日、木にとまるノスリ1、越冬中（鈴木紀雄）。

**戸田市 道満グリーンパーク** ◇11月21日、道満池、散歩橋定点観察。カイツブリ7、オオバン3、カルガモ2、カワセミ、ツグミ7ほどの群れで木から木へ飛び交う。ヒヨドリ、キジバト、ハシボソガラス、モズ♂1（陶山和良）。

#### 表紙の写真

#### スズメ目ホオジロ科ホオジロ属アオジ

顔が黒くなり、花に囲まれました。もうすぐ旅立ちます。 蟹瀬武男(さいたま市)



5月に開催予定の探鳥会（全て事前予約制です）と、4月に開催予定のオンライン野鳥フォーラムのご案内です。最新情報は、ホームページでご確認ください。

【各探鳥会（事前予約制）共通の開催要項】

1. 日本野鳥の会会員限定の先着順（ただし、埼玉会員優先）とする。
  2. **申し込みは、当会のホームページからとする**（原則として開催日の4週間前から、受け付けを開始）。予約なしでの参加はご遠慮ください。
- ※宿泊を伴う「乗鞍～上高地」と「戸隠高原」だけは、申し込み受付開始日を4月1日とします。
3. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」（最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」から閲覧できます）に沿って実施する。
  4. **必須条件**：マスクまたはフェイスシールドなどの飛沫防止策（ご用意のない方は参加をご遠慮ください）。
  5. 筆記用具や観察用具（双眼鏡等）は、各自で用意する。
  6. 万一、探鳥会開催後に参加者から感染者が出た場合には、参加者名簿を保健所に提出する。
  7. **緊急事態宣言が解除されても、感染防止のため開催中止を継続する場合もある。**

**栃木県・小倉山森林公園探鳥会・要予約**

期日：5月1日（土）

集合：午前8時30分、東武日光駅前。集合後徒歩で現地へ。※JR日光駅ではありません。

交通：特急リバティけごん1号 東武日光行 春日部7:03発→東武日光8:23着。

解散：昼食後に現地へ。

募集人数：10名

担当：青木、浅見(徹)、佐野、長野

見どころ：昨年はコロナで中止。今年こそは、なんと少しでもオオルリに会いたい！ まだオオルリを見たことがない初心者の方、お待ちしております。勿論ベテランの方も大歓迎です。



オオルリ（編集部）

ご注意：①前日(4/30)17時発表の、宇都宮地方気象台気象情報 0288-177 で、栃木県北部 5/1 午前中の降水確率が 50%を超えた場合は中止(中止する場合は、前日 19 時ころまでに HP でお知らせするとともに参加者にメールを差し上げます。担当者は現地に行きません)。②お弁当は、東武日光駅でも買えます。

**幸手市・宇和田公園探鳥会・要予約**

期日：5月3日（月・祝）

集合：午前9時15分、宇和田公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線 東武動物公園駅東口から境車庫行き 8:40 発のバスで「上宇和田」下車。北方向に徒歩5分。

解散：正午ころ、宇和田公園駐車場で。

募集人数：20名

担当：佐野、浅見(徹)、小林(み)

見どころ：田植えの始まった公園周辺の田んぼでムナグロやコチドリを探します。

**長野県・乗鞍～上高地探鳥会・要予約**

期日：5月15日(土)～16日(日)

※詳細は3月号をご覧ください。4月1日からホームページで参加申し込みを受け付けます。ホームページのチェックをお忘れなく。

**長野県・戸隠高原探鳥会・要予約**

期日：5月15日(土)～16日(日)

※詳細は3月号をご覧ください。こちらも、

4月1日からホームページで参加申し込みを受け付けます。ホームページのチェックをお忘れなく。

### 加須市・加須はなさき公園探鳥会・要予約

期日：5月15日(土)

集合：午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

交通：東武伊勢崎線 春日部 8:12→久喜 8:27→花崎 8:34。または JR 宇都宮線 大宮 7:53→久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。駅からの引率はありません。

解散：正午ころ、現地で。

募集人数：15名

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、千葉

見どころ：公園内の身近な野鳥を楽しみます。子育て中のシジュウカラやメジロ。縄張りを主張するオオヨシキリ。空にチョウゲンボウやオオタカが舞えばラッキー。

### 狭山市・入間川定例探鳥会・要予約

期日：5月23日(日)

集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。

交通：西武新宿線 本川越 8:43 発、または所沢 8:41 発に乗車。

解散：正午ころ、稲荷山公園で。

募集人数：10~20名

担当：長谷部、石光、佐藤(久)、島崎、山口、山本(真)

見どころ：ササゴイ、コチドリ、オオヨシキリなど、入間川の夏鳥たちを探します。

### さいたま市・三室地区探鳥会・要予約

期日：5月23日(日)

集合：午前9時、「みひろ桜広場」(さいたま市立病院バス停(終点)から徒歩約5分)。

交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから 8:31 東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。

解散：正午前に集合地で。

募集人数：10~20名

担当：青木、浅見(徹)、小林(み)、須崎

見どころ：ヒバリやホオジロの囀りを聞きながら、初夏の見沼たんぼで半日過ごしません

か。カッコウやホトトギスの声が聴けるかな。キジのディスプレイ行動やコチドリなども。

「埼玉オンライン野鳥フォーラム」を開催しています。



既にご参加いただいている方もいるかと思いますが、オンライン会議システムを使った野鳥フォーラムを開催しています。当会ホームページから参加申し込みをお願いします。4月の開催予定は以下のとおりですが、詳しくはホームページをご覧ください。

#### 第10回

期日：4月4日(日) 16:00~

演題：「魅惑の探鳥地」-2

副題：どこにするか検討中です。お楽しみに。

講師：当会幹事 廣田純平

#### 第11回

期日：4月11日(日) 16:00~

演題：「野鳥の羽講座」-3

副題：羽の色と飛翔について

講師：当会幹事 菱沼一充

#### 第12回

期日：4月18日(日) 16:00~

演題：「羽根日記・付けたり」-3

副題：8月の日記 後編/アオゲラ・サシバの羽

講師：当会幹事 近藤龍哉

#### 第13回

期日：4月25日(日) 16:00~

演題：「コロナの年、鳥は？」-2

副題：コロナの年の探鳥記・夏

講師：当会幹事 佐野和宏

※当会HPから参加申し込みができます。誰でも無料で参加可能です。開催概要、開催内容などの詳細については、ホームページをご覧ください。



## 行事報告

新型コロナウイルスの感染拡大により、計画されていた以下の探鳥会は中止されました。

- 3月6日(土) 千葉県 銚子漁港
- 3月18日(木) 羽生市 羽生水郷公園
- 3月20日(土祝) 松伏町 松伏記念公園
- 3月27日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

### 野鳥分布調査・夏季調査について

調査部

いよいよ5月11日から7月10日までの夏季調査の期間に入ります。会員の皆様の絶大なご協力をいただきたく、よろしくお願いたします。

新型コロナウイルスの流行で外出自粛が叫ばれていますが、屋外を1人または家族単位で歩くことは例外で、感染リスクが低く、健康維持のために推奨されています。野鳥分布調査は、楽しみながら健康を保ち、県内の野鳥生息状況を知ることでもできるという一石多?鳥の行為です。

報告の方法としては、これまでにいろいろな手段をお知らせしていますが、どの方法でも結構です。ここで報告の方法をまとめておきます。

- ① 会のウェブサイトにあるExcel様式に入力して、メールに添付して報告
- ② 会のウェブサイトにあるA4サイズの調査票に記載して、メール添付または郵送で報告
- ③ メール本文に記載して報告
- ④ フィールドノートを写真に撮って、メールに添付して報告(スマホでできます)
- ⑤ 探鳥会で配布したハガキで報告

上記以外の方法でも結構ですから、調査年月日、地名や近くの施設名(なるべく詳しく)または3次メッシュまたは調査範囲中心付近の緯度経度、報告者氏名、すべての観察鳥(飼いは含まず、探鳥会という番外鳥は含む)をお知らせください。

メール送信先: research@wbsj-saitama.org  
郵送先: 日本野鳥の会埼玉 調査部あて

『しらこぼと』の関連記事: 2017年9月号、2020年3月号、2020年12月号

### 自分用のメッシュ地図の作成

調査部

これまで、調査部で野鳥のデータを「野鳥データベース」に記録するのに、場所を3次メッシュという面積およそ1平方キロメートルの区画で表しているとお知らせしてきました。

#### 1. 紙の地図

これまでに、3次メッシュを調べるいろいろな方法をお知らせしてきましたが、紙の地図がいいという方もいらっしゃると思います。

前に国土地理院が発行している「2万5千分の1地形図」をご紹介しましたが、自分でメッシュを区切る線を引くという面倒な作業が必要でした。

今回、3次メッシュの区切りとメッシュコード(メッシュ番号)が入った地形図を手に入れられる方法が見つかりましたので、ご紹介します。

#### 2. 国土地理院の電子地形図

前記の国土地理院の地形図はインターネット上で閲覧することが可能な電子地形図としても公開されています。実は、その地形図にメッシュを表示させる機能が用意されていたのです。

国土地理院の電子地形図は、出所を明らかにしておけば、個人やグループ内での利用に関しては許可を得る必要がありません。これは、利用しない手はありませんね。

#### 3. パソコンで電子地形図から紙の地形図を作成

パソコンで印刷する手順は次のとおりです。

- ① ブラウザで「国土地理院」を検索して、ウェブサイトを開く (<https://www.gsi.go.jp>)
- ② 「地理院地図を見る」をクリック
- ③ 画面右上の「設定」をクリックして開く
- ④ 「グリッド表示」をクリックして開く
- ⑤ 「地域メッシュ」をクリックして「ON」に
- ⑥ 地形図を、グリッドの中に8桁の数字(メッシュコード)が表示され、歩く道路が見える程度まで拡大
- ⑦ 欲しい場所までマウスを使って地形図を移動
- ⑧ 右上のメニューの「印刷」をクリック
- ⑨ 画面上部の「用紙サイズ」を希望のものに設定し、地図の印刷する位置をマウスで微調整
- ⑩ 画面上部の「印刷」をクリック
- ⑪ 印刷画面で画面下部の「印刷」をクリック

⑦が終わった段階で「お気に入り」に登録しておく、次回は①～⑥の操作が不要となります。



・ヤング探鳥会、リーダー研修会、レディス探鳥会、スカウト・勧誘の働きかけのコツ、サブリーダー・サブスタッフなど、多岐にわたって話し合いが続いた。

### ●第 44 回日本野鳥の会関東ブロック協議会(オンライン会議)に参加

2021 年 1 月 16 日 (土) 午後 2 時～5 時 30 分、ZOOM 利用のオンラインで、神奈川支部担当による協議会が開催され、当会の山部直喜代表、小林みどり副代表、佐野和宏 IT 委員会委員長の 3 名を含めた合計 24 名が参加しました。

議事録要旨は次の通りです。

神奈川支部鈴木茂也支部長による開会挨拶、公益財団法人日本野鳥の会遠藤孝一理事長による来賓挨拶に続き、

各団体近況報告(埼玉:コロナ禍のための探鳥会中止が19~20年度で合計48回に及んだ。「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」を作成し、会報『しらこぼと』9月号および公式サイトに内容を掲載して、再開後の探鳥会の運営方法や参加時の注意事項を会員等に告知した。など)に続き、次の事項が協議された。

**協議 1** < 現況報告に基づくこれからの探鳥会の在り方 >

- ・コロナの影響で昨年3月から9月頃まで探鳥会中止の団体が多かった。
- ・「やはり探鳥会あつての野鳥の会と実感した」と複数の団体から発言。
- ・少人数の申込制探鳥会について。
- ・50人くらいの大人数の探鳥会の場合。
- ・望遠鏡の共用問題、など。

**協議 2** < リーダーの発掘の方法—若手や女性登用の在り方— >

次回担当団体は茨城支部であることが紹介され、閉会しました。

### ●会員数は

3月1日現在1,477人です。

## 活動報告

2月15日(月)、『しらこぼと』3月号入稿。  
2月19日(金)、同3月号埼玉事務局発送分納品。

同日、同3月号を『野鳥』誌と同封発送しない会員に向けて袋詰め作業後、浦和中郵便局から発送(海老原教子、海老原美夫、山部直喜)。

2月26日(金)~3月2日(火)、役員会メールリングリストによる役員会を開催。普及部・IT委員会共同提案による「議案第1号:5月の探鳥会開催計画について」「議案第2号:時間無制限のオンライン会議システムZOOMの導入について」を承認した。

## 編集後記

フィールドで出会うエナガのペアがクモの糸を嘴で引っ張っている姿を見かけた。脚を踏ん張り、身体を斜めにして引っ張ってもクモの糸はなかなか切れない。新素材として注目されるクモの糸だが、エナガは、ずっと前から巣作りに使っていたのですね。(藤)

しらこぼと 2021年4月号(第445号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 [office@wbsj-saitama.org](mailto:office@wbsj-saitama.org)  
編集部への原稿 [yamabezuku@wbsj-saitama.org](mailto:yamabezuku@wbsj-saitama.org) 編集部への野鳥情報 [toridayori@wbsj-saitama.org](mailto:toridayori@wbsj-saitama.org)  
住所変更などの連絡は [gyomu@wbsj.org](mailto:gyomu@wbsj.org) または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635

〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ  
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社